

Baxter

機械器具 7. 内臓機能代用器
自動腹膜灌流装置用回路及び関連用具セット

高度管理医療機器	
承認番号	20400BZY01282000
JMDNコード	70590000

ホームAPDシステム ゆめセット
(UVフラッシュ 4バッグ用 少注流量セット)

再使用禁止

【警告】

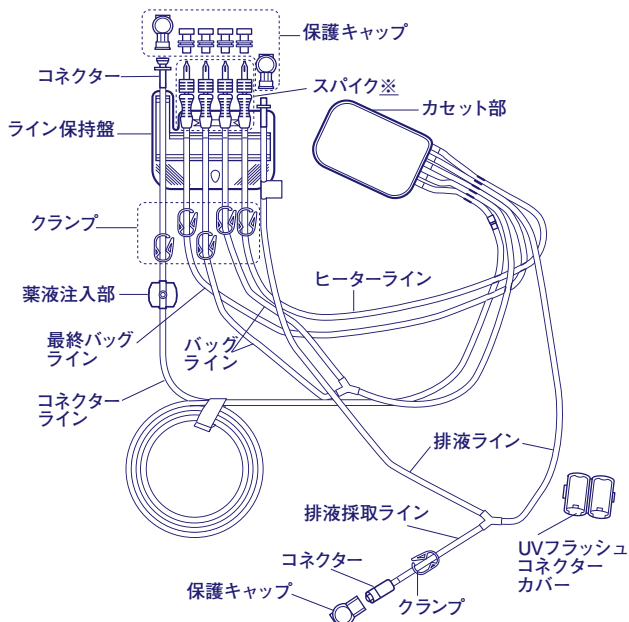
本品の接続部及び透析液が接する部分を汚染した場合は使用しないこと [腹膜炎を発症することがある]。

【禁忌・禁止】**

- ・再使用禁止
- ・本品は、【操作方法または使用方法】欄に示す専用機器以外とは併用しないこと [不適切な器材（もの）を使用すると、汚染や腹膜炎を発症することがある]。

【形状・構造及び原理等】**

本品は「CAPD UVフラッシュセット」UVフラッシュディスプレイコネクタ接続チューブ/UVフラッシュ接続チューブ（以下、「接続チューブ」という）及び当社の透析液バッグに接続し、透析液の注排液に用いる器具で、専用の自動腹膜灌流装置ホームAPDシステムゆめ（以下、「ゆめシステム」という）とともに使用します。



※当社指定の腹膜透析液 シングルバッグの接続口に適合する形状です。

本品はポリ塩化ビニル（可塑剤：フタル酸ジ（2-エチルヘキシル））を使用しております。

【使用目的】**

本品は、ゆめシステムに取り付け、透析条件を設定後、自動操作と自動制御により透析液の注入、貯留、排液を繰り返し、腹膜透析を行う専用器具である。

【品目仕様等】**

気密性

内圧39.2kPaを負荷するとき、空气の漏れがない。

【操作方法又は使用方法等】**

本品と当社の透析液バッグ（以下、「透析液バッグ」という）及び接続チューブの接続及び切離しを行うときには必ずUVフラッシュオートを用いて下さい。

準備

1. 新しい透析液バッグを用意します。
2. ゆめシステムの電源を入れます。治療内容の確認あるいは設定を行なって下さい。
3. 開始ボタンを押して下さい。

セットの開封

4. 本品を包装から取り出し、全てのクランプを閉じます。

セットの取り付け

5. ハンドルを上げてドアを開け、本品の青いテープを取り外します。
6. ドアの内部に本品のカセット部をセットします。
7. ドアを閉じて、ハンドルを下げます。
8. 本品のライン保持盤をドア上端部及び中央部のフックにセットします。
9. ライン保持盤から排水ラインを取り外し、排水バッグあるいは排水用容器に接続します。
10. 開始ボタンを押します。
11. マスクを着用し、手を洗います。
12. ライン保持盤からヒーターライン（赤いクランプ付）を取り外し、UVフラッシュオートを用いてスパイクを透析液バッグに挿入して、ゆめシステムのヒーター部に透析液バッグをのせます。
13. 同じ手法で必要に応じバッグライン（白いクランプ付）のスパイクをUVフラッシュオートを用いて透析液バッグに接続します。
14. 最後に必要に応じ最終バッグライン（青いクランプ付）をUVフラッシュオートを用いて透析液バッグに接続します。

15. コネクターラインとバッグの接続されたラインのクランプを開きます。
- 注意：排液採取ライン及び未使用バッグラインは閉じたままです。
16. コネクターラインがライン保持盤にあることを確認のうえ、開始ボタンを押します。
17. ゆめシステムが、自動的にプライミングを行ないます。コネクターラインの白いテープを外します。
18. コネクターラインをUVフラッシュオートを用いて接続チューブに接続してUVフラッシュコネクターカバーを装着し、接続チューブのツイストクランプを開けます。

治療開始

19. 開始ボタンを押します。
20. 排液がスタートして、治療が始まります。
なお、一時切り離しを行う場合はUV APD キット及びUVフラッシュオートを用いてください。

薬液注入の手順

21. 必要物品をそろえます。
22. マスクを着用し、手を洗います。
23. 薬液注入部の先端に消毒液（ポビドンヨード液）を載せ5分間放置します。針の挿入前に余分な消毒液をガーゼに落とします。
24. 使用する薬液を吸引します。
25. 注射針を薬液注入部に挿入し、薬液を注入します。薬液を注入する前に注射針を交換して下さい。

治療の終了

26. 本品及び接続チューブのクランプを全て閉めます。
27. 本品と接続チューブをUVフラッシュオートを用いて切り離します。
28. 本品及び使用済みの透析液バッグを取り外し捨てます。
29. ゆめシステムの電源を切ります。

<使用方法に関連する使用上の注意>**

1. ご使用の前に、ゆめシステムをはじめ、組み合わせて使用する製品の添付文書、取扱説明書又は操作手順書を必ずお読み下さい。
2. ご使用前には必ず以下の点をご確認ください。
 - ・ 本品の包装に破れ、傷、汚れがあった時は使用しないでください。
 - ・ 本品に傷、汚れがあるとき、保護キャップが外れているときには本品を使用しないでください。
 - ・ 本品に変色、ヒビ、変形、劣化、破損があった時は使用しないで下さい。
 - ・ 本品の接続操作は、清潔な環境下で清潔操作により、行って下さい。
3. 腹膜透析施行中の一時切り離しは、腹膜透析施行1回につき1回限りとしてください。
4. クランプの開閉操作は確実に行って下さい。

5. 本品には殺菌消毒剤を使用しないで下さい。ただし、薬液注入部には、ポビドンヨード液が使用可能です。消毒を行う場合は、本文書の「薬液注入の手順」欄に記載されている方法で行ってください。
6. 本品はエチレンオキサイドガス滅菌済みにつき（保護キャップで無菌性を保証）、包装開封後、直ちに1回限りの使用とし、再滅菌、再使用しないで下さい。

<組み合わせて使用する医療機器>**

- 「ホームAPDシステム ゆめ」 (承認番号20400BZY01279000)
「UVフラッシュオート」 (承認番号20900BZZ00283000)
「CAPD UVフラッシュセット」 UVフラッシュ接続チューブ、
UVフラッシュディスクコネクト接続チューブ
(承認番号20200BZY00463000)
「UV APD キット」 (承認番号21600BZY00181000)
「ホームAPDシステム ゆめセット」 排液採取用セット
(承認番号20400BZY01282000)
「PAC-Xサイ클ーセット」 15L排液バッグ
(承認番号20200BZY00607000)

【使用上の注意】

重要な基本的注意

1. ゆめシステムは少流量モード（1回当りの注液量が60～1,000mL）をご使用下さい。
2. 汚染した可能性のある本品を接続した場合や本品の接続部から液漏れ、接続部からの抜けが発生した場合は、注排液をせず、すみやかに医療機関に連絡して下さい。
3. 本品は必ず本文書及びご参照になる当社の取扱説明書又は操作手順書に記載の製品とのみ接続及び装着を行って下さい。
4. 本品を当社以外の製品と接続した場合、当社では安全保証の責任を負いかねますので御了承下さい。

【貯蔵・保管方法及び使用期間等】**

1. **貯蔵方法**
室温にて保管して下さい。
2. **使用期限**
使用期限は包装に記載。[自己認証（当社データ）による]

【包装】

10セット/箱

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称及び住所等】**

製造販売元（輸入元）：バクスター株式会社
〒104-6009 東京都中央区晴海一丁目8番10号
製造業者：バクスター ヘルスケアS.A.（シンガポール）
Baxter Healthcare S.A.（Republic of Singapore）
問い合わせ先：バクスター株式会社
電話番号：03(6204)3700〔ダイヤルイン〕

Baxterはバクスターインターナショナルインクの登録商標です

製造販売元（輸入元）**

バクスター株式会社
東京都中央区晴海一丁目8番10号

JLRDYU-SID018

